

# 横断面作成アプリをアップデート

前号 (ニュースレター35号) で予告していた横断面作成アプリ (CrossSection) をバージョンアップしました。データの入力、重ね横断面を作成「する」「しない」を選択します (図-1)。作成する場合は、基本となる DEM データ (DEM1) に加え、撮影時期の異なる DEM データ (DEM2) を指定します。ちなみに、DEM データのデータ形式は、スペース区切り、カンマ区切り (CSV ファイル) 別に、それぞれ、座標系を Y, X, Z と X, Y, Z の 4 通りの形式に対応します。また、横断面データを計測する位置は、曲線表による等間隔の測点の他、左右端の平面直角座標の指定による任意の位置の測定が可能です。アプリの出力は、テキスト形式の縦断面図、横断面図データ、エクセルによる縦断面図、及び DXF 形式の横断面図を出力します。図-2 に、DXF の横断面図を示します。横断面図は、同じ位置、同じ基準線高さ (DL) に対して測定し、重ね図として出力します。CAD による編集作業により、侵食堆積断面面積の測定などが可能となります。

bitProject の当面の運営方針として、今月以降、CrossSection 以外のアプリについても、随時、必要性の高いものからバージョンアップします。バージョンアップが済み次第、ウェブサイト、ニュースレターなどで報告します(^\_^)

## お知らせ

### BaseGeoData\_1D のアップデート

前号で予告していたもう一つのアプリのバージョンアップも完了しました。BaseGeoData\_1D は、1 次元土砂移動シミュレーションに用いる地形データを作成するアプリです。これまで、横断面 (一般断面) を計算に用いる矩形断面に近似する方法は、水面幅を溪床幅として流下断面積の等しい平均河床高を求める方法のみ対応していました。今回のバージョンアップにより、水深から溪床幅を求める方法を追加しました。アプリのデータ入力では、この 2 つの方法を計算断面ごとに選択できるようにしてあります。矩形断面化の方法の詳細については、Programming Topics No.6 (<https://online-bit.com/2024/03/08/1013/>) を参照お願いします(^\_^)

図-1 CrossSection データ入力フォーム



図-2 CrossSection の DXF 形式の出力例

## 編集後記

春分の候

新年度を迎え、ますますのご健勝とご活躍のことと存じます。さて、Office.bit はお陰様で開業から 3 周年となりました。経済産業省の中小企業白書によると個人事業は開業後 3 年で約 60%、10 年で約 90% が廃業するらしいです。何とか、生き残りの 40% に入れました(^\_^) 10 年はまだ見通しがきかないので、まずは、5 年を目標に頑張ろうと思っています(^\_^) 今後ともよろしく願いいたします m(\_\_)m

代表 宮崎 知与



技術士 (建設部門) 登録事務所

Office.bit (オフィス・ビット)

〒066-0052 千歳市文京 5 丁目 3-2

☎090-7583-3062

Email : [miyazaki.co.jp.since2019@gmail.com](mailto:miyazaki.co.jp.since2019@gmail.com)

Website: <https://online-bit.com/>